

## 採択拠点の拠点形成概要・採択理由

【分野名：革新的な学術分野】

機 関 名	東京工業大学
拠点のプログラム名称	エージェントベース社会システム科学の創出
中核となる専攻等名	総合理工学研究科知能システム科学専攻
事業推進担当者	(リーダー) 出口弘 教授 外19名
<p>(拠点形成概要)</p> <p>エージェントベース社会システム科学は、情報化・グローバル化した「21世紀社会の諸システム」をボトムアップに捉え、その制度設計の原理と手法の導出をミッションとする。本研究教育拠点では、マシンエージェントだけでなく、問題に関わる人間（政策担当者など）もエージェントとして参加し、解決すべき問題の共有・理解・分析を可能とする「エージェントベースのモデリング」と「シミュレーションの枠組み」を開発する。これらにより、個々のエージェントを基礎にして、社会諸システムを構成的にモデル化し、様々な制度をその設計過程に遡れる形で提案する。現在、我々は、欧米アジアで複数の新国際学会の設立に深く関与し、それらを連携させつつある。本研究教育拠点では、100以上の個別具体モデルを通じて研究教育プログラムを開発するとともに、コーストレーニング体系を整備して欧米アジアへ提供する。以上の活動により、世界のNetwork of Excellenceのハブとして、産官学における制度設計のための視座と分析枠組みを構築し、21世紀の知識資本を形成する。</p>	
<p>(採択理由)</p> <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>大変よく検討された新しい技術をベースとした文理融合の拠点形成計画で、極めて構想の大きな研究教育プログラムであり、わが国には大変必要とされる分野である。事業推進担当者の活動も世界的な水準であり、社会問題に適用可能な手法としての斬新な社会設計論が得られる可能性も高い。</p>	
<p>&lt;革新的な学術分野であるポイント&gt;</p> <p>自律的なエージェントとしての個人や組織をボトムアップ的な視点で捉え、シミュレーション、理論及び実証という3つの切り口から、世界が直面する重要かつ困難な問題の解決手段を提供しようとするものであり、社会科学とシステム科学の文理融合を目指す点で、革新的な学術分野の開拓が期待できる拠点形成計画である。</p>	